

山行報告書

山行管理部

例会山行 府庁山 2月26日

L 森（勝）、西尾、谷村、新熊 42名（内一般3名）

南海難波駅 8:13→天見駅 8:52 着 9:25 出発→天見道分岐 10:05→十字峠 10:45→府庁山 11:30→11:40 昼食 12:10→田山 13:25→クヌギ峠 13:50→千早口駅 14:30

春を感じさせる紅白の梅が咲いていたり切干大根を干しているなど、のどかな里の風景を楽しみながらスタートしました。下見で懸念していたのは、昼食する場所と田山を過ぎたあたりの急な下り坂でした。大勢なので各自なんとか適当な場所を確保しましたが、日当たりが悪い所で食事された方は寒かったのではないのでしょうか？お天気も良く暖かかったので、急坂も凍ることなく全員無事に下山できてなによりでした。
(新熊 記)

サロン 榎原今井町散策 3月4日 L 宇野 参加8名

大和三山に囲まれた今井町は、江戸時代に栄えた商家の町並が其のままの原形を残してる町です。交流センターで町の歴史のビデオを見て出かける。先ず19世紀に分家して来たと言う高木家にお邪魔する、皇室の方々も御寄りになる御宅は今は無駄の物は無く円竹の天井は黒く、少しの装飾の品が展示されて居る、其の時代を想像し守って行く難しさ等をお聞きしました。300年から200年前の商家が500軒程その佇まいを今に見ることができるこの町は、この土地にぴったり日本の財産だなど思いました。環濠の名残の有るミニ公園でお昼、皆さんに一筆したためてもらう。東征のためにこの地、榎原までの波乱にとんだ行程が記された絵巻を拝観する、神話の不思議さにロマンが有りますね。楽しかった榎原の町をあとに帰路に着きました。
(宇野 記)

教育部 冬山ボッカ訓練(芦屋川駅→宝塚駅) 3月5日 CL 高桑 SL 森(庸)5名
08:30 阪急芦屋川駅前集合 ~ 10:00 風吹岩 ~ 12:00 一軒茶屋 ~ 17:00 宝塚駅
(16kgから20kgを背負い20kmの距離をボッカ訓練)

SLに先頭を任せ、コースや休憩、ペース配分などの実地講習をかねる。張りきっているのか前半はついていくのがやっとのオーバーペース。途中でちょっと失速するが重い斤量を背負い宝塚駅まで完走する。ペースづくり、ボッカ訓練の有効性、リーダー指示の在り方等々などを参加者全員が再確認した。

(高桑 記)

教育部 伯耆大山[春山(雪山)の基本訓練] 3月11～12日 L高桑 5名

11日：旧大阪中央郵便局前 12:00 → 大山寺 15:30 (駐車場に泊)

12日：大山寺 7:00 → 夏山ルート → 弥山 10:30 → 雪上訓練(1時間) → 大山寺 14:30

- ・道路は蒜山辺りより路肩に残雪多いが大山寺までの道路はノーマルタイヤでもOKでした。
- ・駐車場は雪の大山の人気のりで深夜にはすでに満車状態。
- ・天候は春山としては申し分のない好天、微風、気温で欲を言えば夜間に風があれば霧氷が観られたのと思うが、夜は昴(プレアデス星団)の天体観察をする。
- ・山行中の雪は駐車場から雪上で地道を歩くことなく下山までその状態。6合目の避難小屋はほぼ埋もれている。山頂の案内板なども埋もれていた。剣ヶ峰の縦走路や他の稜線のアルパインルートは多くの人が果敢に登攀していた。
- ・テント泊については前回の課題の起床から出発時間までの短縮の取り組みはテント撤収時間を考慮すればずいぶん良くなったと思うが今後は各自が一つ一つの行動を見直していくことが課題。
- ・下山時に9合目辺りの斜面で滑落停止訓練などを行きかう登山者の好奇心目をはばからずに1時間訓練を実施。段々と様になっていく姿は頼もしく愛おしく感じる。
- ・登山時間は追い越すことはないものの4時間足らずで登頂できたのは雪道などを考慮すればまずまずの出来と思う。お陰で18時半には帰路の尼崎に帰れた。

(高桑 記)

土曜山行 歌垣山～妙見山 3月12日 L森(保) 18名

阪急梅田駅 8:30 = 阪急バス妙見口駅 9:47 = 歌垣山登山口 10:05 ~ 歌垣山山頂 11:00 ~ 妙見奥ノ院 12:10 ~ 今池谷 12:35 (昼食) 13:05 ~ 野間大原 ~ 本瀧寺 13:55 ~ 能勢妙見山 14:50 ~ 上杉尾根 ~ 妙見口駅 16:20 (解散)

歌垣山登山口バス停で体操をして出発。登り初めから急登が続き、休憩を多く入れながら歌垣山に登頂。歌垣山は左に男山、右に女山があり、その昔は未婚の若者が山に集まり歌ったり踊ったり交流の場所だったとの事。山頂で暫く休憩後、急勾配な林の中を下り妙見奥ノ院、さらに下り今池谷の小屋で昼食。のどかな野間大原の里を抜け、長い急な階段(125段)を上り本瀧寺。ひと休み後、ブナ林の急坂を登って能勢妙見山に到着。山頂の三角点を確認、テラスから市街地の景観を楽しむ。駐車場を抜け緩い勾配の上杉尾根をゆっくり慎重に下る。

(森(保) 記)